

## 三鷹市立第 中学校 令和5年度【 数 学 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○単元計画を作成することで、教員間での単元における重点目標等の共有や進度の調整を行うことができるようになった。</p>	<p>&lt;現状&gt; ○前の単元の内容や別の領域の内容と結びつけながら学習を行っている。 ○結論だけでなく、その結論までの過程や根拠などについて考えさせながら、課題に取り組ませている。</p> <p>&lt;課題&gt; ○基本的な計算に課題が残る生徒がいる。 ○数学的な考え方や用語を使って説明することが苦手である。 ○考えを文字や言葉にする表現力が弱い。</p>	<p>○授業のはじめに簡単な計算など既習事項を確認する時間を設ける。</p> <p>○ノートをとる際、板書されたことを写すのではなく、自分の考えや他の人の考えを自分の言葉でメモするようにさせる。</p> <p>○定期テストや振り返りシートなどで、自分の考えを表現する機会を多く設ける。</p> <p>◎小テストや休み明けテストを導入し、毎日の学習の取り組みを確認する機会を増やす。</p>
第2学年	<p>○単元計画を作成することで、教員間での単元における重点目標等の共有や進度の調整を行っている。</p> <p>○単元の終わりに振り返りを行うことで、次の単元で生徒が自分の改善点を確認して取り組むようになった。</p>	<p>&lt;現状&gt; ○授業時に昨年度の既習事項を復習し、基礎基本の確認を行っている。 ○自分の習熟度に応じて目標を設定して、授業に取り組んだり、家庭学習に取り組んだりすることで目的に応じた学力の定着を目指している。 ○定期テストについて学校全体での取り組みを行い数学の学習時間を確保している。</p> <p>&lt;課題&gt; ○基礎的な計算力が不足している生徒がいる。 ○学習習慣のサイクル（授業とその復習）がまだ身につけていない生徒がいる。 ○自分の課題を客観的に見出す力が弱い。</p>	<p>○授業前に復習課題を実施して学習習慣を補うことで基礎基本の定着を図る。</p> <p>○学習カードを利用することで振り返りの内容を充実させ、自分の学習の取り組みや理解度などについての課題を客観的にとらえやすくする。</p> <p>◎単元テストや休み明けテストを導入し、毎日の学習の取り組みや自分の習熟度を確認する機会を増やす。</p>
第3学年	<p>○単元テストの導入により、今までより短いサイクルで自分の習熟度を確認し、改善に努める姿が見られた。</p> <p>○授業ノートや自習ノート、振り返りに関するルーブリックを生徒にも提示することで、明確な目標をもって取り組みを改善できる生徒が増えた。</p> <p>○単元テストにおいて知識・技能の得点率が上がった。</p>	<p>&lt;現状&gt; ○年度当初に「数学科評価規準」を、単元ごとに「目指す生徒の姿」を配布し、生徒自己調整力の向上を図っている。 ○週末課題を毎週末に配布し、基礎基本の定着を図っている。 ○単元テストを導入し、自分の習熟度を確認する機会を増やした。</p> <p>&lt;課題&gt; ○振り返りは充実しつつあるが、まったく書けない生徒もいる。 ○自習ノートを上手く活用できない生徒がいる。</p>	<p>○授業内に振り返りを書く時間を確保し、苦手な生徒には視点を明らかにする等書き始めのサポートをする。</p> <p>○よい授業ノートや自習ノートの例を共有することで、ねらいと取り組み方を再確認する。</p> <p>◎めあてと課題を精査し、学習テーマがわかりやすい授業づくりを行う。</p>